科目名	共通基本技術Ⅰ	対象学年・時期	1年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・30時間
講義概要	デュプロマポリシー3に基づく。 看護は具体的な看護実践活動を通して果たされるものであり、看護の目標を達成するために看護技術があることを理解する必要がある。看護技術とは、看護職者が専門技術として身につけておく必要のある技術であり、「誰にでも適用できる範囲での看護技術」と定義づけられている。また看護の専門性に基づいて、対象の安全・安楽・自立を目指したものでなければならない。共通基本技術ではあらゆる看護場面、対象に共通する技術を学ぶが、なかでもこの科目では、看護技術の概念や特徴を理解してから、対人援助職である看護に必要な人間関係の基本となる「コミュニケーション技術」「指導・援助技術」、あらゆる援助の基本となる「安全・安楽」、援助には欠かすことのできない「感染予防」について学ぶ。		
講義形態	講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション		
学習目標	1．看護技術の概念と特徴を理解する。 2．看護実践において、対象との人間関係を成立・発展させるために必要な知識と技術を習得する。 3．対象の現状を把握し、情報として活用するための技術と、看護実践の原則である安全・安楽・自立の技術を習得する。		
学習内容 (授業計画)	1．ガイダンス 看護技術の概念と独自性		
	2．感染予防 感染予防とスタンダードプリコーション	事前学習：感染防止の技術について教科書の該当ページを熟読する	
	3．感染予防 手指衛生の演習	事前学習：手指衛生についてレポートにまとめる	
	4．感染予防 スタンダードプリコーションの実際　演習		
	5．安全・安楽 看護における安全・安楽とは ＜安全管理＞ 看護における安全管理	事前学習：安全確保の技術について教科書の該当ページを熟読する	
	6．安全・安楽 転倒・転落/患者誤認の防止　演習		
	7．安全・安楽 安楽をもたらす援助技術　リラクゼーション法　演習	事前学習：安楽をもたらす援助技術について教科書の該当ページを熟読する	
	8．安全・安楽 罨法　演習	事前学習：罨法の基礎知識　ワーク	
	9．コミュニケーションの概念と基本技術	事前学習：コミュニケーションについて教科書の該当ページを熟読する	
	10.コミュニケーション ベッドサイドでのコミュニケーション　演習 ロールモデルの実施		
	11.コミュニケーション 演習のまとめ アサーティブネス		
	12.観察・記録・報告 看護における必要性とポイント		
	13. 看護における指導・教育技術 個人・集団に対する指導・教育技術　グループワーク グループアプローチとグループダイナミクス	事前学習：学習支援について教科書の該当ページを熟読する	
	14. 看護における指導・教育技術 グループワーク発表		
使用テキスト	医学書院 系統看護学講座　専門分野　基礎看護学【２】「基礎看護技術Ⅰ」 医学書院 系統看護学講座　専門分野　基礎看護学【３】「基礎看護技術Ⅱ」		
事前学習・事後学習 (学習を促進できる学修)	事前学習は「8. 学習内容」を参照してください。教科書の該当ページは授業前に指示します。テキストの該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にしましょう。また、関連動画がある場合は視聴してください。 事後学習では各演習後に演習で行ったワーク用紙の提出を求めます。指定日まで担当教員まで提出してください。教科書・講義資料等を用い、授業内容の振り返りを行い、理解を深めましょう。		
評価基準と評価方法	筆記試験		
備考	原理・原則に基づいた看護技術の習得のため、講義の内容を各演習まで振り返り演習に望みましょう。		